

能役者の名品が語る、

歌舞伎座花籠講座
SEASON 2

師、先輩、名人の舞台を目で盗み、謡いこみ、舞いこみ、演じ上げてきた実演者だからこそ実感することがある。これまで多くの難曲・大曲と対峙してきた能役者、味方玄が選ぶ「これぞ名品」という一曲を、より深く、よりリアルに語ります。

第3回

「恋重荷」

KOI-NO-OMONI

講師：味方 玄（観世流シテ方）

2022年10月13日（木）15：30 開始
歌舞伎座三階 花籠ホール

主催 / 一般社団法人伝統文化交流協会

共催 / 古典の日推進委員会

特別協力 / 歌舞伎座サービス株式会社・ジャポニスム振興会



能役者の名品が語る、

歌舞伎座花簞講座
SEASON2

第3回

「恋重荷」 こいのおもに

十四世紀から途切れることなく継承され続けている舞台芸術としてユネスコ無形文化遺産第一号に指定される能楽（猿楽）は、日本ならではの神仏習合の信仰、もののあわれ、幽玄の美意識が凝縮された日本文化の根幹ともいえる芸能です。

京都を拠点として活動を広げる能楽師・味方玄氏による歌舞伎座花簞講座。今期は、演じ手目線で選んだ、味方氏セレクトによる名品の能、六作品を深掘りしていきます。

第三回は『恋重荷』です。御所の庭守の老人が高貴な女御に身分違いの恋をするも、もてあそばれて憤死し、女御に呪いをかける…という、なかなか異色の設定の曲ですが、作者の世阿弥は「この能は、色ある桜に柳の乱れたるようにすべし」と言い残しました。この言葉の意味も紐解きつつ、作品の魅力をたっぷり語り、謡っていただきます。



©Akashi Photos

みかたしずか
味方玄

観世流能役者。一九六六年、京都生まれ。能楽師味方健の長男。幼少より父に手ほどきを受け、一九八六年、故片山幽雪（人間国宝）に内弟子入門。幽雪（九世九郎右衛門）、十世九郎右衛門に師事。一九九一年、独立。二〇〇一年、「京都市芸術新人賞」受賞。二〇〇二年、KBS京都テレビにて能楽入門番組「能三昧」（全28回）を監修・出演。二〇〇三年、新作能「待月（つきまち）」の脚本を手がけ、シテを演じる。二〇〇四年「京都府文化賞奨励賞」受賞。二〇一一年、重要無形文化財（総合）認定。京都・東京における個人主催の会「テアトル・ノウ」を始め、数多くの演能と能楽の普及活動、企画・演出・プロデュースもこなし、国内外を問わず幅広く活動を続ける。著書『能へのいざない』（淡交社刊）

公式サイト <https://theatrenoh.com/>

2022年10月13日（木）15:30 開始（開場 15:00 / 終了 17:00 頃）

歌舞伎座三階 花簞ホール

参加費：一般 3,500 円 / 青少年 1,000 円（※満 12 才～26 才未満）

【R】レギュラー会員 2,500 円 / 【S】賛助会員 1,800 円

お申込みは、Eメールまたはホームページ「予約フォーム」より。

【公演名「能の名品 10/13」 / お名前 / 電話番号 / 申込人数】をお知らせください。

後日、受付確認メールにて代金振込のご案内をお送りいたします。

《参加申込み》[Tpac：伝統文化交流協会]

■HP：<https://www.tpac.info/events/detail/id=320>

■E-mail：Tpacdentobunka@icloud.com

◎その他お問合せ：ホームページ又はメールにてお願いいたします。



「能役者が語る、能の名品」

詳細が決まり次第 HP やチラシで告知していきます。

随時ご確認ください。

予告

第4回「定家ていか」

日程未定（12月～来年1月頃を予定）

<https://www.tpac.info>

歌舞伎座花簞講座について

19世紀中頃からヨーロッパで起こった浮世絵などの日本文化ブームは、西洋の文化芸術に多大な影響を与えました。その魅力は物質的なものというより、むしろ精神にありました。日本の伝統芸能のシンボル・歌舞伎座の一角で開校した【歌舞伎座花簞講座】で、日本文化が伝えるその精神に触れてみてください。

古典の日

平成24年9月施行「古典の日に関する法律」により毎年11月1日が「古典の日」と制定され、国民が古典に親しみ心のよりどころになる機運が醸成されることが期待されています。

新型コロナウイルス感染予防対策に関する注意事項です。必ずお読みください。

- 会場内ではマスクの着用をお願いいたします。また、大きな声での会話はお控えください。
- 必ず事前予約をお願いいたします。その際、お名前とご連絡先をうかがいます。（複数でお申込みの場合も個別にうかがいます）
- ご来場者全員に検温と手指の消毒を実施し、37.5度以上の発熱がみられる場合はご入場をお断りいたします。
- 今後のウイルス感染拡大の状況によっては、定員数の変動や、やむをえず中止とさせていただきます。